



## 「学びのつながり」 ～「さんぽ」から～

10月19日（火）、久しぶりの晴天です。でも、肌にあたる風はずいぶんと冷たくなりました。鳥海山には冠雪が見られます。

児童生徒達が大好きな「さんぽ」の活動も、今年度は終わりに近づいています。

コロナ禍において校外での活動が少なくなってきた中、「さんぽの活動」は、心身を解放しながら季節の移ろいや自然を感じることができる大切な学習活動です。

ある日のAさん、Bさんの「さんぽの活動」の様子です。

さんぽコースは、#2でも紹介している遊歩道です。遊歩道を少し行くと、小高い丘（希望の丘）の上にある藤棚に到着です。

眼前には日本海が広がります。爽やかな秋風も心地よく、とても気持ちのよい時間です。少しすると、Aさんが自分の唇に手をあて「シー（静かに）」と言いました。Bさんは何かに耳を澄ましている様子です。

『チンチロリン、チンチロリン・・・』マツムシの鳴き声です。

音楽の時間に、タブレット型端末で鑑賞した声（音）とそっくりの声です。そして、AさんとBさんの様子も、音楽で見せてくれた仕草と全く同じです。

本物のマツムシの声に静かに耳を傾けています。「音楽の時に聴いた声と同じだね」と先生が語り掛けます。

「あの時学んだな・・・」そんな感覚や気付きにつながり、季節や自然の移ろいを実感できる学びであればいいな、と思いました。



【遊歩道をさんぽ中です】



【「虫の声」を歌いました】